

## 3.13.4 情報バリアフリー推進室

室長 齋田 信二郎 ほか2名

### 情報弱者への支援（情報バリアフリー環境の推進）

#### ■概要

誰もが等しく通信や放送のサービスを利用できる環境を整備するため、放送事業者による番組への字幕等の付与の支援、新たな機器やサービスの開発・提供を行う民間事業者への支援や情報バリアフリー関係情報の提供を実施した。

#### 1. 字幕・手話・解説番組制作の促進（図1、2）

- (1) テレビ放送における聴覚障害者向け字幕・手話及び視覚障害者向け解説の付与に係る経費の一部を助成。
- (2) 普及が遅れている手話番組について、合成表示される手話翻訳映像の制作に係る経費の一部を助成。
- (3) 取り組みが遅れているCM番組への字幕付与について、CM素材への字幕付与をチェックする機器の整備に係る経費の一部を助成。

#### 2. チャレンジド向け通信・放送役務の提供及び開発の促進

身体障害者の利便増進に資する波及性・有益性のある通信・放送サービスを開発・提供する事業に対して、経費の一部を助成（図3）。

#### 3. 情報バリアフリー関係の情報提供

身体障害者や高齢者を含む誰もが利用しやすい情報バリアフリー環境の実現に資する情報を提供。

#### ■平成29年度の成果

##### 1. 字幕・手話・解説番組制作の促進

##### (1) 字幕番組等制作促進助成金

- ①平成29年度は、全国116社の放送事業者等が放送する43,552番組に対して助成を行い、字幕、解説、手話が付与された放送番組の拡充に貢献した。
- ②普及が進んでいない解説番組や手話番組に対して重点的に予算配分を行う等、効果的な助成を行った。

##### (2) 手話翻訳映像提供促進助成金

平成29年度は、放送番組に手話翻訳映像を合成した

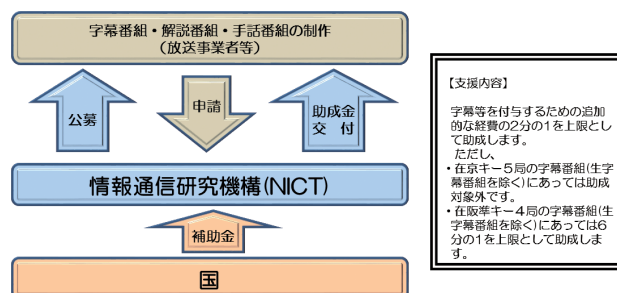


図1 字幕番組等制作促進助成金 助成スキーム図

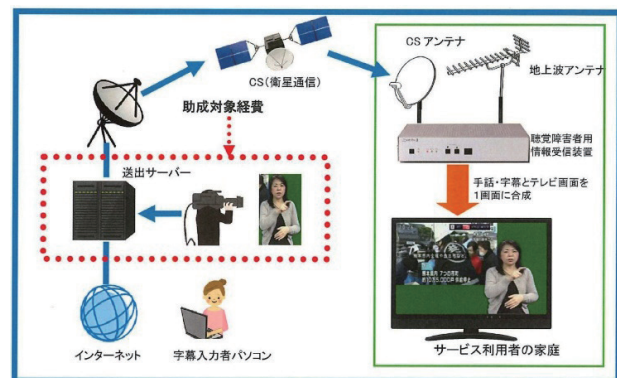


図2 手話翻訳映像提供のイメージ図

番組94本に対して助成を行い、聴覚障害者向けの手話番組の充実に貢献した。

##### (3) 字幕付きCM番組普及促進助成金

平成29年度は、4放送事業者に対して助成を行い、字幕付きCM番組の普及促進に貢献した。

#### 2. チャレンジド向け通信・放送役務の提供及び開発の促進

##### ・チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金

- ①平成29年度は、図3にある5件の事業へ助成を行い、障害者向け通信・放送役務の提供等の充実に貢献した。
- ②公募に当たり、報道発表やWebページによる情報提供、メール配信、関係団体への周知等を行った。

#### 3. 情報バリアフリー関係情報の提供

- ①NICTの「情報バリアフリーのための情報提供サイト」（図4）を通じ、障害者や高齢者、福祉関係団



● オープンイノベーション推進本部

②平成29年度のアクセス数は約71万件であった。

③第44回国際福祉機器展（H.C.R.2017）（9月、東京ビッグサイト）に出展し、助成事業者による成果発表やデモ展示のほか、NICTの研究開発成果の「自動販売機×タクシー×Wi-SUNで地域の高齢者を見守ります」、「こえとら」のデモ展示等を行い、NICTが行う情報バリアフリー社会実現に向けた取組を情報発信した（図5）。

図4 情報バリアフリーのための情報提供サイト

